

## 2020 年度に流行した 高病原性鳥インフルエンザウイルスの特徴

2020 年 11 月 4 日に香川県の養鶏場で鶏の死亡数増加が報告され、死亡鶏から H5N8 亜型高病原性鳥インフルエンザウイルス（HPAIV）が検出されました。それ以降 2021 年 3 月 13 日までに合計 52 例の H5N8 亜型 HPAIV が栃木県以南の家禽の農場で見つかっています。また、2020 年 10 月 24 日以降、全国的に野鳥及びその糞便からも同じ H5N8 亜型 HPAIV の検出が報告されています。農場での早期発見に役立つ情報を提供することを目的とし、初発例から分離された香川 2020 株を鶏に接種してウイルスの特徴を調べました。さらに関東甲信越・北陸地方の野鳥由来及び 49 例目までの農場で見つかった H5N8 亜型 HPAIV の遺伝子を詳細に解析し、それらウイルスの由来の推定及び詳細な分類を実施しましたので紹介します。

### ☆ 技術の概要

1. 2020 年度の初発ウイルスである香川 2020 株は感染鶏を全て死亡させましたが、以前に分離された H5 亜型 HPAIV と比べて感染鶏が死亡するまでの日数が数日長く、感染して症状が出る前にもウイルスが排泄されることが明らかになりました。
2. 野外分離ウイルスの遺伝子を詳細に解析したところ、2020 年度に国内で分離された H5N8 亜型の HPAIV はいずれも 2019 年以降、ヨーロッパで分離された株と近縁で、さらに 5 つの異なる遺伝子型が国内に侵入していたことが明らかとなりました（図）。
3. 2019 年以降、ヨーロッパで流行している H5N8 亜型 HPAIV が 2020 年度の秋に渡り鳥と共に大陸を渡り日本に侵入後、農場にウイルスが侵入して発生を引き起こしたと考えられます。

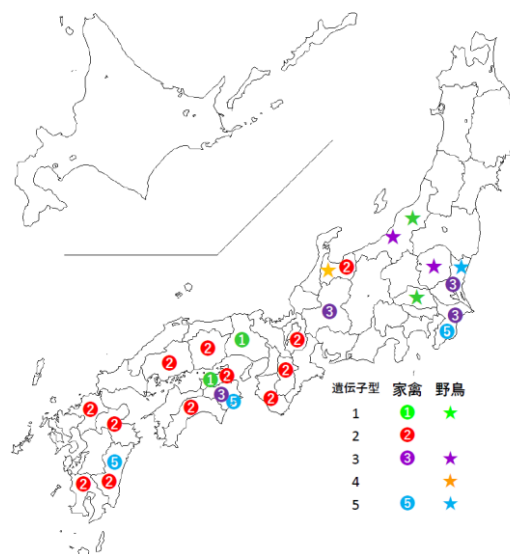


図 H5N8 亜型 HPAIV の遺伝子型の分布

### ☆ 活用面での留意点

1. 感染野鳥が運ぶ HPAIV が農場内に侵入しないように飼養衛生管理の徹底が必要です。
2. 詳しくは、農研機構「お問い合わせ窓口」(<https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>)までお問い合わせください。

(農研機構 動物衛生研究部門 内田裕子)